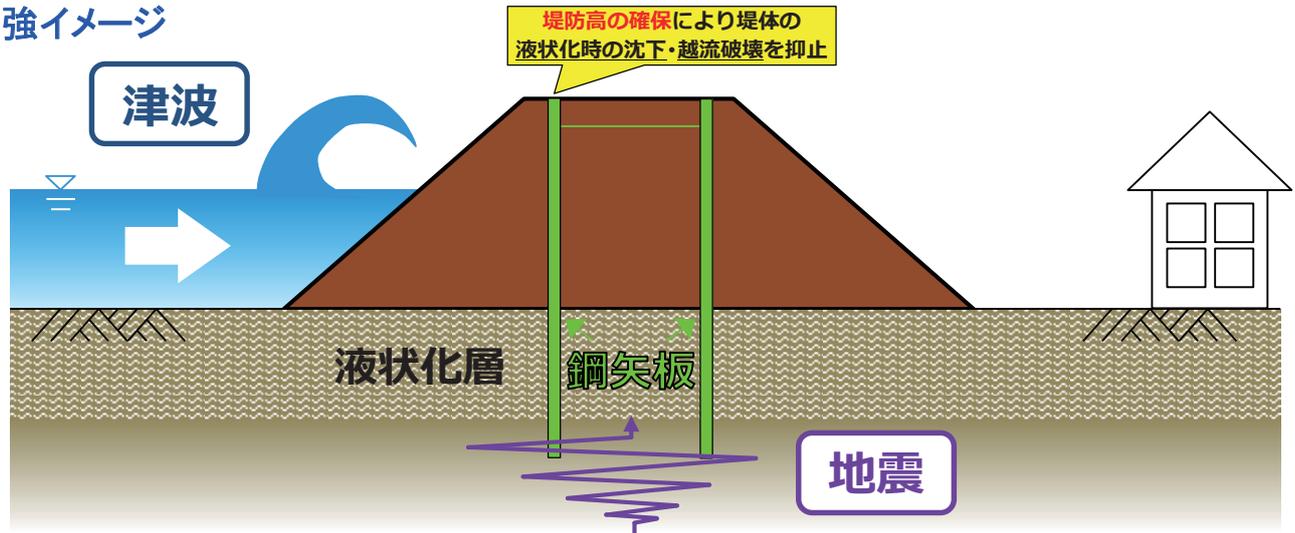


海岸堤防補強

東日本大震災による津波を受けた際も、他構造物よりも健全度が高かった二重鋼矢板壁構造を、海岸分野における堤防補強に応用。巨大地震に伴って発生する津波・液状化に対して、堤体の天端を確保することで、海岸堤防としての防護機能の喪失を防ぎます。

◆補強イメージ



◆対策効果

	無対策の場合	二重鋼矢板で補強した場合
津波	<p>越水による法面破壊から全体崩壊へ</p>	<p>越水で法面破壊しても天端高さを確保</p>
液状化	<p>液状化による基盤軟化で堤体が全体崩壊</p>	<p>液状化により法面が沈下しても天端高さを確保</p>

◆実績

仁ノ海岸/国交省高知河川国道, 新居海岸/国交省高知河川国道, 鍋田地区海岸/愛知県農林水産部,
津松坂港海岸/国交省四日市港湾, 下田吉佐美海岸/静岡県下田土木 他

<ご注意とお願い> 本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したものを除き、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましては責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や複写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、或いは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。